



城西国際大学大学院

2018年9月入学(国内募集)

学生募集要項

Graduate School of Humanities

人文学研究科

M.A. Program in Inter-Cultural Studies

国際文化専攻(修士課程)

M.A. Program in Woman's Studies

女性学専攻(修士課程)

M.A. Program in Global Communication Studies

グローバルコミュニケーション専攻(修士課程)

Ph.D. Program in Comparative Cultures

比較文化専攻(博士後期課程)

Graduate School of International Administration

国際アドミニストレーション研究科

M.A. Program in International Administration

国際アドミニストレーション専攻(修士課程)

Graduate School of Management and Information Sciences

経営情報学研究科

M.B.A. & Ph.D. Programs in Management of Entrepreneurial Ventures

起業マネジメント専攻

(修士課程・博士後期課程)

Graduate School of Social Work Studies

福祉総合学研究科

M.A. Program in Social Welfare Studies

福祉社会専攻(修士課程)

Graduate School of Business Design

ビジネスデザイン研究科

M.B.A. Program in Business Design

ビジネスデザイン専攻(修士課程)

JOSAI INTERNATIONAL UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

〒283-8555 千葉県東金市求名(ぐみょう)1番地

城西国際大学 入試課

TEL: 0475-55-8855 (直通)

FAX: 0475-53-2194

E-mail: admis@jiu.ac.jp

建学の精神 理念 目的 ポリシー等

建学の精神

学問による人間形成

教育理念

国際社会で生きる人間としての人格形成

ビジョン

城西国際大学は、高い倫理観のもと、地域社会および国際社会のニーズに対応した先端的教育の提供および研究の推進をもって、日本、アジア、そして世界を舞台に活躍できる人材を育成する未来志向のグローバル大学になります。

ミッション

城西国際大学は、多様な時代に即した知的で刺激的な学びを提供し、文化を継承・創造し多様性を理解して地域や世界で活躍できる人材、およびそれぞれの専門能力をもって関連領域と連携できる職業人を育成します。

教育目標

学校法人城西大学は、創立者水田三喜男による「学問による人間形成」を建学の精神として1965（昭和40）年に発足しました。城西国際大学は、その建学の精神を継承しつつ、「国際社会で生きる人間としての人格形成」を独自の教育理念として掲げ、未来志向の人材育成を社会的使命としてきました。

また、本学学則第1条では、「広い分野の知識と深い専門の学術を教授研究し、知的、道徳的能力の涵養をはかり、もって国家社会に貢献し得る人材を養成するとともに、人類文化の発展に寄与することを目的とする」ことを掲げている。

本学は、これらを具現するため、次の5項目を具体的な教育目標として掲げ人材の育成に努めている。

- 先端性を持った経営情報学、人文学、メディア学、観光学、環境社会学の教育・研究に努め、文化を継承・創造し多様性を理解して地域や世界で活躍できる人材を育成します。
- 先端性を持った社会福祉学、薬学、看護学の教育・研究に努め、それぞれの専門能力をもって関連領域と連携して地域で活躍できる職業人を育成します。
- 地域社会および国際社会で活躍する社会人として必要とされる人間力と教養、実務能力などの修得、および帰属意識の形成をはかります。
- 大学設置地の地域社会と緊密な関係を保ち、産学民官の協働による地域の活性化、および文化の振興に貢献する「地域密着型」の総合大学、未来志向の大学を目指します。
- 同一法人の城西大学と相互啓発・協働をおこない、相携えて発展することで、社会における学校法人城西大学の責務を果たします。

城西国際大学が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

城西国際大学大学院は、建学の精神「学問による人間形成」および教育理念「国際社会で生きる人間としての人格形成」を理解し、本学大学院の教育方針に共感を示す以下のような人を広く求めます。

修士課程

- 自らの研究分野について学士課程修了相当の基礎的な知識を持ち、それをさらに専門的に深化向上させるために主体的に取り組むことができる人
- 研究者倫理について理解している人
- 自らの研究分野について強い探求心を持ち、自ら研究課題を設定することができる人
- 自らの研究課題や内容を口頭発表や論文で的確に表現できる人
- 自らの研究成果を社会的な課題の解決に活用し、社会の発展に資することに価値を見出すことができる人

- 異なる価値観が存在するグローバル社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人

博士課程

- 自らの研究分野について修士課程修了相当の専門的な知識を持ち、その更なる深化向上に主体的に取り組む、学位論文にまとめようとする意欲のある人
- 学位論文の作成に必要な語学力を有する人
- 研究者倫理について理解している人
- 自らの研究分野について強い探求心を持ち、独創的な研究課題を設定し、論理的な学位論文をまとめることができると見込める人
- 自らの研究課題や内容について学会での口頭発表や論文執筆ができる人
- 自らの研究成果を積極的に発表し学問の発展に資することに価値を見出すことができる人
- 自らの研究成果を社会的な課題の解決に活用し、社会の発展に資することに価値を見出すことができる人
- 異なる価値観が存在するグローバル社会のリーダーとなり、共に生きることや人が成長することに価値を見出すことができる人

【入学試験の留意点】

アドミッション・ポリシー（入学者受け入れの方針）を実現するため、以下の点に留意して各入学試験を実施します。志願する研究科・専攻の教育目的に則して、研究のために必要な知識、専門性、研究に対する適性及び意欲等を多面的に審査・評価します。

《国内一般入試》

志願する研究科・専攻の教育目的に対し理解と共感を示し、必要な資質と研究能力を有する優秀な人材に対して行う制度です。選考は書類審査、面接、その他当該研究科・専攻が決定する専攻方法で実施します。書類審査では、それまでにおこなった研究の内容（卒業論文、修士論文）、志望理由、入学後の研究計画、修了後の希望・計画やその他の提出書類について審査を行い、当該研究科・専攻への適性及び意欲や研究能力等を審査・評価します。面接では、それまでにおこなった研究の内容及び入学後の研究計画等について口述試問を行い、当該研究科・専攻への適性・意欲や研究能力等を審査・評価します。

《留学生国内入試》

志願する研究科・専攻の教育目的に対し理解と共感を示し、必要な資質と研究能力を有する留学生に対して門戸を開く制度です。選考は書類審査、面接その他当該研究科・専攻が決定する専攻方法で実施します。また、当該研究科が規定する研究に必要な高度の日本語あるいは英語の運用能力を審査・評価します。留学期間中の経費支弁能力等も総合的に審査します。書類審査では、それまでにおこなった研究の内容（卒業論文、修士論文）、志望理由、入学後の研究計画、修了後の希望・計画やその他の提出書類について審査を行い、当該研究科・専攻への適性及び意欲や研究能力等を審査・評価します。面接では、それまでにおこなった研究の内容及び今後志望する研究分野の研究計画等について口述試問を行い、当該研究科・専攻への適性及び意欲や研究能力、日本語あるいは英語の運用能力等を審査・評価します。

《社会人入試》

志願する研究科・専攻の教育目的に対し理解と共感を示し、必要な資質、研究能力と実務経験を有する社会人に対して門戸を開く制度です。実務から得られた知識・経験や、実務において活躍する意欲についても審査・評価します。選考は書類審査、面接、その他当該研究科・専攻が決定する方法で実施します。書類審査では、それまでにおこなった研究の内容（卒業論文、修士論文）、志望理由、入学後の研究計画、修了後の希望・計画やその他の提出書類について審査・評価します。それに加えて、当該研究科・専攻の領域に関して、社会人の経験をふまえてまとめた課題により、当該研究科・専攻への適性及び意欲や研究能力等も審査・評価します。面接では、それまでにおこなった研究の内容及び今後志望する研究分野の研究計画、社会人としての実務経験等について口述試問を行い、当該研究科・専攻への適性及び意欲や研究能力等を審査・評価します。

人文科学研究科が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

比較文化専攻（博士後期課程）

- 知識・理解

比較文化研究、ジェンダー論、日本文化研究に関して、修士課程修了相当の知識と理解を有している。

●技術

人文科学の諸領域に関して、修士課程レベルの研究・発表能力を習得している。

●態度・志向性

グローバル社会との関係性において人文科学の諸領域を捉え、探究しようとしている。

国際文化専攻（修士課程）

●知識・理解

日本文化研究・比較文化研究の専門的な内容及び方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。

●技術

日本文化研究・比較文化研究の分野において自ら研究課題を設定することができる。

自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる。

●態度・志向性

文化の多様な側面に関心を持ち、研究をとおして理解を深めたいと考えている。

異文化理解力とコミュニケーション力を積極的に磨き、その力をもって社会に貢献したいと考えている。

文化に係る知識を必要とする専門職を目指している。

女性学専攻（修士課程）

●知識・理解

人文科学・社会科学の専門的な内容及び方法について、学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。

●技術

女性学・ジェンダー研究の分野において自ら研究課題を設定することができる。

自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる。

●態度・志向性

ジェンダーと人権に係る諸問題に関心を持っている。

ジェンダー平等社会の実現に向けて、具体的な問題意識を有している。

グローバルコミュニケーション専攻（修士課程）

●知識・理解

言語学、言語教育学、翻訳通訳研究について学士課程修了相当の基礎的な知識を有している。

●技術

専攻しようとする分野に関係する言語について、研究や技能習得が十分におこなえる程度の運用能力を有している。

「日本語教育」「翻訳」「通訳」「TESOL」の分野において自ら研究課題を設定し、研究計画を立てることができる。

自らの研究テーマや内容を、口頭表現や文章表現で的確に伝えられる。

●態度・志向性

グローバル社会のより良い発展について主体的に考え、そのような社会に適応し、貢献できる人材になりたいと希望している。

異文化を理解する能力を養い、多文化共生社会で貢献し、活躍したいと望んでいる。

言語の普遍性や多様性など、母語に限定されない言語の幅広い知識を身につけ、豊かな言語生活を築きたいと考えている。

コミュニケーションに含まれる多様な要素について関心を持ち、理解を深めたいと考えている。

より高度な語学力とコミュニケーション能力を、実践を通して習得し、それを活かせる職業に就きたいと考えている。

日本語教員、翻訳者・通訳者、英語教員など、言語に関する専門知識と応用言語学的知識（言語教育や翻訳・通訳などの知識）が必要とされる専門職を目指している。

福祉総合学研究科が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

●社会福祉または近接領域等における学び、あるいは福祉に関わる実務体験等を経て、福祉社会を創造することの必要性を認識し、その実現に資する研究に取り組む意欲をもつ人。

●異なる文化や価値観、多様な人々のライフスタイルを理解し、共感できる広い視野と柔軟性を備えた人。

- 本研究科での学びを強く希望し、福祉を広い視野から再考し、構築するための専門性や実践力、研究能力を身につけたい人。

経営情報学研究科が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

起業マネジメント専攻（博士後期課程）

修士の学位を取得し、更なる専門知識に対する探究心を有するもの

- 修士論文において研究活動に必要な基本能力を確認できるもの
- 学位論文作成に必要な語学力を有するもの
- 研究者として強い成長意欲を有するもの
- 高度な専門職業人を目指し専門分野における能力向上意欲を有するもの

起業マネジメント専攻（修士課程）

- 学士号を取得し、経営分野の専門知識に対する強い探究心を有するもの
- 専門知識の修得意欲に加え、将来の自身について強い成長意欲を有するもの
- 高度資格取得に意欲的に取り組む姿勢を有するもの
- 修士論文作成に必要な語学力を有するもの
- 中小企業診断士養成課程については、中小企業診断士の第1次試験に合格し、本修士課程において同資格の取得を目指すもの

ビジネスデザイン研究科が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

●知識・理解

今日のPEST（政治 Politics、経済 Economics、社会 Society、技術 Technology）に係る基本的な知識を持ち、時代と社会の変化に関心をもつ人。

今後の社会において、新しいコミュニケーションをデザインし、新しいビジネスモデルを構築する重要性を理解できる人。

●技術

ロジカルシンキングによる合理的なコミュニケーション・判断・意思決定ができる人。

効果的なコミュニケーションを進めるために、メディアに係る表現に関心のある人。

●態度・志向性

クリティカル・シンキングを通じて新しい問題を発見し、新しいものの見方を獲得したいという知的柔軟性をもっている人。

社会的課題に関心を持ち、ソーシャルイノベーションに係わりたい人。

デザイン思考、仮説思考、シナリオ思考による新しい価値の創造に従事したい人。

国際アドミニストレーション研究科が求める人物像（アドミッション・ポリシー）

- 学際的な研究をおこなうことに強い意欲を持ち、専門的な知識や実践的な能力を高めようとする人
- 現代のグローバル社会が抱える諸問題に強い関心を持ち、問題解決に努め、貢献しようとしている人
- 創造性に優れ、グローバルリーダーとしての役割を果たしていくことに、強い意欲を持っている人

目次

はじめに

- この学生募集要項には出願手続きから入学手続き完了までのすべてを記載しています。はじめに一通り熟読してください。さらに必要ところを読み返して、書き違い、思い違いのないように十分注意してください。
- 選考日当日はこの「学生募集要項」を必ず持参してください。
- 不正行為が発覚した場合は、試験当日の以降の受験は認めません。
- 出願書類の本学所定用紙は別刷を使用してください。

1. 募集研究科・専攻・募集人員・出願資格	1
2. 出願基準・日程	2
3. 選考会場・通学履修キャンパス	3
4. 出願手続きに関する注意・選考時間	4
5. 国内一般入試	5
6. 留学生国内入試	7
7. 社会人入試	10
8. 可否発送・入学手続・入学辞退	11
9. 学費等納付金一覧	12

『個人情報保護法』について

※ 「個人情報保護法」の施行に伴い、本学では、学内における学生個人の情報に利用・管理方法の再確認を行うとともに、個人情報の管理に最善の注意を払って取り組んでいます。

入学試験での提出書類の記載事項については、次のとおり利用します。

1. 入学試験に関する資料作成のため
2. 合格者及び入学決定者への諸連絡のため
3. 入学決定者については、入学後の新生名簿及び学生名簿作成のため
4. 志願者の在籍校（出身校）に、教育上必要な場合に入試結果等の通知のため

なお、上記の業務については、その一部を業者に委託する場合があります。その場合、個人情報の預託にあたり、個人情報保護水準が十分な業者を選定します。

修士課程修了要件について

修了の要件は、所定の単位の修得と修士論文またはプロジェクト研究報告書の審査および最終試験に合格することです。修業年限は2年ですが、出願時に1年間で修士課程を修了できると見込まれ、在学中に特に優れた業績をあげた者については、1年以上の在学で修了できる制度も設けています。

人文科学研究科国際文化専攻、女性学専攻、グローバルコミュニケーション専攻
経営情報学研究科起業マネジメント専攻、ビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻
福祉総合学研究科福祉社会専攻、国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻

All-English Program

国際アドミニストレーション専攻は英語によるプログラム（授業）を開講しています。All-English Program を希望する場合は本学公式 web サイトを確認してください。

<https://www.jiu.ac.jp/englishsite/mgsia/index.html>

■募集研究科・専攻および募集人員

研究科	専攻	学位	修了年限	募集人員 (名)		
				4月	9月	合計
人文科学研究科	国際文化専攻	修士 (国際文化)	2年*	10	5	15
	女性学専攻	修士 (女性学)	2年*	10	5	15
	グローバルコミュニケーション専攻	修士 (国際文化)	2年*	15	10	25
	比較文化専攻	博士 (比較文化)	3年	4	2	6
国際アドミニストレーション研究科	国際アドミニストレーション専攻	修士 (国際アドミニストレーション)	2年*	25	10	35
経営情報学研究科	起業マネジメント専攻	修士 (経営学)	2年*	26	10	36
	起業マネジメント専攻	博士 (経営学)	3年	4	2	6
福祉総合学研究科	福祉社会専攻	修士 (福祉社会)	2年*	20	5	25
ビジネスデザイン研究科	ビジネスデザイン専攻	修士 (経営学)	2年*	20	10	30

*1年修了コース有り。希望者は面接時に資格の審査があります。審査の結果、1年修了コースに該当しないと判断された場合、2年修了の課程で合格が認められることがあります。

※起業マネジメント専攻の中小企業診断士登録養成課程と薬学研究科医療薬学専攻の募集は行いません。

■出願資格

【博士課程（後期）の出願資格】

博士課程（後期）の出願資格は、以下のいずれかに該当する者に認められます。

- (1) 修士の学位や専門職学位を有する者（学校教育法第102条第1項）または入学時まで修士の学位を取得する見込みの者
- (2) 外国において、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第156条第1号）または入学時まで修士の学位に相当する学位を取得する見込みの者
- (3) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第156条第2号）
- (4) 外国の大学院相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学（大学院相当）日本校）を修了し、修士の学位や専門職学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第156条第3号）
- (5) 国連連合大学の課程を修了し、修士の学位に相当する学位を授与された者（学校教育法施行規則第156条第4号）
- (6) 大学等を卒業し、大学、研究所等において2年以上研究に従事した者で、大学院において、修士の学位を有する者と同等の学力があると認めた者（平成元年文部省告示第118号）
- (7) 大学院において個別の入学資格審査により認めた24歳以上の者（学校教育法施行規則第156条第6号）

【修士課程出願資格】

修士課程の出願資格は、以下のいずれかに該当する者に認められます。

- (1) 大学を卒業した者（学校教育法第102条）及び入学時まで卒業見込みの者
- (2) 大学改革支援・学位授与機構により学士の学位を授与された者（学校教育法施行規則第155条第1項第1号）
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第1号）または入学時まで卒業見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育を我が国において履修することにより当該国の16年の課程を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第3号）
- (5) 我が国において、外国の大学相当として指定した外国の学校の課程（文部科学大臣指定外国大学日本校）を修了した者（学校教育法施行規則第155条第1項第4号）
- (6) 外国の大学その他の外国の学校において、修業年限が3年以上の課程を修了し、本大学院で大学を卒業した者と同等以上の学力

があると認められた者

- (7) 指定された専修学校の専門課程（文部科学大臣指定専修学校）を修了した者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 5 号）
 - (8) 個別の入学資格審査をもって、大学を卒業した者と同等以上の学力があると本学大学院において認めた者で、22 歳に達している者（学校教育法施行規則第 155 条第 1 項第 8 号）
 - (9) 社会人選抜の出願資格については上記のいずれかに該当し、かつ下記の条件のいずれかを満たす者とする
- ① 卒業後 2 年以上が経過し、出願時に職務経験を 2 年以上有する者
 - ② 本大学院においてこれと同等の経験を有すると認められた者

出願基準（外国人留学生）

外国人留学生は、「出願資格」（1 ページ）のほかに、下記(1)～(4)のいずれか1つに該当する者について出願を受け付けます。

- (1) 日本留学試験（過去 2 年までの成績が有効）において「日本語」を受験し、得点が 220 点以上の者
 - (2) 日本語能力試験 N2（旧 2 級）以上を取得している者
 - (3) 本学大学院において受講するに足る日本語能力（N2 相当）を有すると判断される者
 - (4) 本学大学院において受講するに足る英語能力（TOEIC Listening & Reading730 相当）を有すると判断される者
- ※ (4) グローバルコミュニケーション専攻「TESOL 研究分野」と国際アドミニストレーション専攻「All-English Program」

限定

※英語能力

TOEIC Listening & Reading730 以上、TOEFL iBT80/PBT550 以上、IELTS(Academic)6.5 以上などの英語能力が証明できる者

※日本語能力（N2 相当）

日本語教育機関や高等学校・短期大学・大学等で 1 年間以上または 500 時間以上日本語を学んだことを証明できる者には受験資格を付与（日本語能力試験 N3 相当の時間数）

出願資格の事前相談や、受験や修学上で特別な配慮を必要とする場合には、入試および入学後の学習等に関係があるので、入学検定料を払い込む前（受験希望の入試出願締切日の概ね 2 週間前迄）に、入試課まで相談してください。

■日程（全研究科全専攻共通）

	出願期間	選考日	合否通知発送日	入学手続締切日
国内	2018 年 8 月 7 日(火)～8 月 15 日(水) ※締切日必着	8 月 25 (土)	9 月 3 日 (月)	9 月 11 日 (火)

■選考会場

千葉東金キャンパス

人文科学研究科 国際文化専攻、女性学専攻、比較文化専攻
 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻（中小企業診断士登録養成課程は除く）
 福祉総合学研究科 福祉社会専攻

【所在地】 〒283-8555 千葉県東金市求名（ぐみょう）1番地
 JR 東金線 求名駅より徒歩5分

東京紀尾井町キャンパス

人文科学研究科 グローバルコミュニケーション専攻
 国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻
 ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻

【所在地】

【1号棟】 〒102-0094 東京都千代田区紀尾井町3-26

- 東京メトロ有楽町線 麴町駅1番出口より徒歩3分
- 東京メトロ南北線 永田町駅9a番出口より徒歩5分
- 東京メトロ丸の内線・銀座線 赤坂見附駅D出口より徒歩8分
- JR 中央線・総武線 四ツ谷駅より徒歩10分

【3号棟】 〒102-0093 東京都千代田区平河町2-3-20

- 東京メトロ半蔵門線 半蔵門駅1番出口より徒歩5分
- 東京メトロ有楽町線 麴町駅1番出口より徒歩5分

*選考会場は受験票で確認してください。

■通学・履修キャンパス

研究科・専攻	キャンパス
人文科学研究科 国際文化専攻（修士課程） 女性学専攻（修士課程） 比較文化専攻（博士後期課程） 経営情報学研究科 起業マネジメント専攻（修士課程・博士後期課程） 福祉総合学研究科 福祉社会専攻（修士課程）	千葉東金 キャンパス
人文科学研究科 女性学専攻（修士課程） グローバルコミュニケーション専攻（修士課程） 比較文化専攻（博士後期課程） 福祉総合学研究科 福祉社会専攻（修士課程） 国際マネジメント研究科 国際マネジメント専攻（修士課程） ビジネスデザイン研究科 ビジネスデザイン専攻（修士課程）	東京紀尾井町 キャンパス

■出願手続きに関する注意

(1) 入学検定料 35,000円

※本学所定の振込用紙で郵便局に払い込み、受付局日付印を確認のうえ、郵便振替払込受付証明書を志願票裏面の所定欄に貼付してください。現金、為替等での納入は受け付けません。また、ATM（現金自動預払機）は利用しないでください。

(2) 受験票：出願者には、書類を受理し確認の後、受験票を送付します。

①受験票用紙に受験者の住所・氏名を記入してほかの書類と一緒に送付してください。

②受験日3日前までに受験票が到着しない場合は、必ず入試課まで問い合わせてください。

(3) 出願書類は必ず**簡易書留**で郵送してください**(締切日必着)**。

送付先：城西国際大学 入試課

〒283-8555 千葉県東金市求名(ぐみょう)1番地

TEL0475-55-8855 (直通)

※提出した書類(一部の原本を除く)の変更・返還、および入学検定料等の返還は認めません。

■選考時間

【午前】

内 容	集 合	筆 記 試 験
時 間	10 : 20	10 : 40～11:40

【午後】

内 容	集 合	面 接
時 間	12 : 40	13 : 00～

※試験当日は必ず受験票を持参してください。

※受験票を紛失した場合には、試験開始10分前までに入試に申し出てください。

※状況により、午前または午後に筆記試験・面接を行うことがあるので、受験票の裏面を必ずご確認ください。

■国内一般入試

(1) 出願書類(全研究科共通)

	出願書類	備 考
1	志願票	①写真(出願3ヶ月以内に撮影したもので縦4cm×横3cm、正面上半身、脱帽、背景なし) ②受験票の記載欄に、「住所」「氏名」および「志望学科」を必ず記入 ③入学検定料の払い込みを済ませた受付局日付印のある「郵便振替払込受付証明書」を志願票裏面の所定欄に貼付
2	健康診断書	本学所定用紙に記入して提出(医療機関で受診) ※学生の場合、学校発行の診断書でも可
3	最終出身学校の卒業証明書(または卒業見込証明書)と成績証明書	証明書原本を提出
4	推薦書	本学所定用紙に推薦者が自筆で記入し、署名および押印をした書類を提出 ※厳封すること
5	志望理由書	本学所定の用紙を使用して記入すること ※ワードで作成した文書を貼付してもよい
6	語学関連の各種検定試験等の合格証書やスコアの原本	※国際アドミニストレーション専攻・グローバルコミュニケーション専攻のみ 語学関連の各種検定試験の合格証書やスコアを証明する書類などがある場合には原本を提出
7	プレゼンテーション資料	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 ※パワーポイント等プレゼンテーション用ソフトを使用する場合には、プレゼンテーションに使用するデータ(画像)をプリントした資料を提出(2部)
8	パソコン使用に関するアンケート	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 プレゼンテーションにおいて、パソコンを使用する場合に提出
9	卒業(修士)論文	卒業(修士)論文および付随する資料(コピー可) なお、卒業(修士)論文を提出できないものについては、その理由を記載した理由書(書式自由)および卒業(修士)論文に相当する業績(コピー可)を提出

	注意事項
1	状況に応じて上記出願書類以外の書類の提出を求める場合があります
2	証明書の姓が現在と異なる場合は、戸籍抄本等を提出すること
3	出願書類は、受験生が自筆の日本語で記入してください
4	提出書類等に虚偽の記載、または虚偽の申告等の事実があった場合には、入学許可を取り消す場合があります
5	提出書類のうち、卒業証書等の再発行が不可能な資料等原本については、合否判定後に返却します

(2) 選考方法

人文科学研究科 (国際文化専攻・女性学専攻・グローバルコミュニケーション専攻・比較文化専攻)

●国際文化専攻・女性学専攻・比較文化専攻の選考方法

- (1) 書類審査
- (2) 英語(60分 100点)
- (3) 面接

※本学日本人卒業生は英語筆記試験を免除

※辞典等の持込不可

※これまでにこなした研究の内容(卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む)および今後志望する研究分野の研究計画(研究主題、方法論、資料等の説明を含む)についての口述試問

●グローバルコミュニケーション専攻の選考方法（日英・日中・日韓 - 翻訳・通訳研究分野を選択する場合）

英語・中国語・韓国語能力について中級以上を有すると判断される者

(1) 書類審査

(2) 「英語」「中国語」「韓国語」から専攻を希望する分野に関する言語を1つ選択（60分 100点）

(3) 面接

※本学日本人卒業生は英語筆記試験を免除

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●グローバルコミュニケーション専攻（TESOL 研究分野を選択する場合）

英語：TOEIC Listening & Reading730 以上、TOEFL iBT80/PBT550 以上、IELTS(Academic)6.5 以上などの英語能力が証明できる者

(1) 書類審査

(2) 英語によるエッセイ（60分 100点）

(3) 面接

※本学日本人卒業生は英語筆記試験を免除

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●起業マネジメント専攻（修士課程・博士後期課程）

(1) 書類審査

(2) 面接

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●福祉社会専攻

(1) 書類審査

(2) 面接

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●ビジネスデザイン専攻

(1) 書類審査

(2) 面接（研究計画に関するプレゼン及び口述試問）

※面接する際、パソコンでのプレゼンテーションが可能です。パソコンを使用する場合には、パソコン使用に関するアンケートを必ず提出し、選考日当日にパソコンを持参してください。

●国際アドミニストレーション専攻

(1) 書類審査

(2) 英語（60分 100点）

(3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

■留学生国内入試

(1) 出願書類(全研究科共通)

	出願書類	備 考
1	志願票	①写真 (出願3ヶ月以内に撮影したもので縦4cm×横3cm、正面上半身、脱帽、背景なし) ②受験票の記載欄に、「住所」「氏名」および「志望学科」を必ず記入 ③入学検定料の払い込みを済ませた受付局日付印のある「郵便振替払込受付証明書」を志願票裏面の所定欄に貼付
2	健康診断書	本学所定用紙に記入して提出 (医療機関で受診) ※学生の場合、学校発行の診断書でも可
3	卒業 (見込) 証明書および成績証明書	出身大学が作成した卒業 (見込) 証明書および成績証明書の原本を提出
4-1	日本語能力試験N2(旧2級)以上の認定証	「日本留学試験」または「日本語能力試験」証明書を提出
4-2	日本留学試験「日本語(220点以上)」の成績通知書	①証明書は原本を提出 ②日本留学試験については、本学入学試験当該年度より過去2年までの成績が有効 ③在籍している日本語教育機関等の成績証明書および出席率証明書を提出 ④英語能力に関する証明書 (TOEIC、TOEFL、IELTS) 等があれば提出 ※詳細については、入試課までお問い合わせください。
4-3	出席率および成績証明書	
4-4	英語能力に関する証明書	
5	推薦書	本学所定用紙に推薦者が自筆で記入し、署名および押印をした書類を提出 ※厳封すること
6	志望理由書	本学所定の用紙を使用して記入すること ※ワードで作成した文書を貼付してもよい
7	語学関連の各種検定試験等の合格証書やスコアの原本	※国際アドミニストレーション専攻・グローバルコミュニケーション専攻のみ 語学関連の各種検定試験の合格証書やスコアを証明する書類などがある場合には原本を提出
8	プレゼンテーション資料	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 ※パワーポイント等プレゼンテーション用ソフトを使用する場合には、プレゼンテーションに使用するデータ (画像) をプリントした資料を提出 (2部)
9	パソコン使用に関するアンケート	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 プレゼンテーションにおいて、パソコンを使用する場合に提出
10	住民票	市町村区役所で発行される原本を提出 ※在留資格、在留期間等が記載されていること
11	外国人調査書	本学所定用紙に本人が記入 (所在地住所を具体的に記入、署名欄に押印あり)
12	身元保証および経費支弁誓約書 ※同一人物でなくても良い	① 本学所定用紙に記入 ② 身元保証人・経費支弁者が別の場合、自筆で別々記入し、署名および押印 ③ 身元保証人とは留学期間中の留学生に関するすべての事項 (緊急連絡先などを含む) について、個人的に保証することが出来る方 ④ 経費支弁の「引受経緯」、「支弁方法」などについて具体的に明記し、日本語・英語以外の言語による記入は、 日本語の訳文を添付 ⑤「生活費」は「外国人留学生授業料減免申請書」の「1ヶ月の仕送り額」とそろえて記入 ⑥団体および企業等の機関保証は認めません
13	出願者本人の預金通帳の写し	経費支弁者からの送金履歴が記載されている預金通帳のすべてのページの写しを提出 提出できない場合は経費支弁者の以下の書類を提出してください。 ①金融機関が発行する預金残高証明書を提出 ② 経費支弁者が中華人民共和国在住者の場合 には、「 存款証明書 (定期6ヶ月以上) 」を提出
14	パスポートの写し	写真、入国履歴等が記載された全ページのコピーを提出
15	外国人留学生授業料減免申請書	所定用紙に本人が記入した書類 (署名欄に押印する) ① 授業料減免制度 (授業料30%減免) の適用を申請する場合は提出 ② 「受験番号」「学籍番号」は、記入不要 ③ アルバイトの有無は、日本国内でアルバイトをしている場合のみ記入 ④ 授業料減免を希望する理由」を明確にして3行以上記入
16	卒業 (修士) 論文	卒業 (修士) 論文および付随する資料 (コピー可) なお、卒業 (修士) 論文を提出できないものについては、その理由を記載した理由書 (書式自由) および卒業 (修士) 論文に相当する業績 (コピー可) を提出

注意事項	
1	状況に応じて上記出願書類以外の書類の提出を求める場合があります
2	外国の各種証明書は、日本語および英語によるものとします。日本語、英語以外の言語による証明書には、日本語の訳文を添付してください
3	出願書類は、受験生が自筆の日本語で記入してください（身元保証書および経費支弁誓約書は除く）
4	提出書類等に虚偽の記載、または虚偽の申告等の事実があった場合には、入学許可を取り消す場合があります
5	提出書類のうち、卒業証書等の再発行が不可能な資料等原本については、合否判定後に返却します

授業料減免に伴う必要書類として、上記書類にあわせて入学手続締切日までに以下の書類を提出してください。授業料減免申請を行わない場合は、その旨を文書で提出してください。

書 類 名	備 考
1 出願者と身元保証人・経費支弁者との関係を証明する書類	① 戸籍謄本（抄本）や出生証明書等、左記の関係が証明できる書類を提出 ② 中華人民共和国出身の出願者は、官公庁で発行される親族公証書を提出
2 戸口簿の写し ※中華人民共和国の出願者	① 「現住所」「身元保証人・経費支弁者本人」「出願者本人」が記載されているページの写しを提出 ② 最新の状況に更新して提出
3 経費支弁者の預金残高証明書	① 金融機関が発行する預金残高証明書を提出 ② 経費支弁者が中華人民共和国在住者の場合 には、「 存款証明書（定期6ヶ月以上） 」を提出 ※出願時に提出している場合には不要
4 預金残高の資金形成を証明する資料	「経費支弁者の預金残高証明書」に記載された金額の資金形成過程が証明できる資料（預金通帳など）のすべてのページの写しを提出
5 経費支弁者の在職証明書	勤務している機関が発行した証明書を提出 ※「在職期間」「勤務先の正式名称」「勤務先住所」「勤務先電話番号」が記載された証明書
6 経費支弁者の収入証明書	経費支弁者の過去3年以上の年収が記載された証明書を提出

(2) 選考方法

人文科学研究科（国際文化専攻・女性学専攻・グローバルコミュニケーション専攻・比較文化専攻）

【A方式】 日本語能力で選考

- 1) 書類審査
- 2) 日本語および小論文（60分 各100点）
- 3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

【B方式】 英語能力で選考

※グローバルコミュニケーション専攻「TESOL 研究分野」限定

- 1) 書類審査
- 2) 英語によるエッセイ（60分 100点）
- 3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

【C方式】 日本語と第三言語で選考

※グローバルコミュニケーション専攻「翻訳分野・通訳分野」限定

- 1) 書類審査
- 2) 日本語および小論文（60分 各100点）
- 3) 「英語」「中国語」「韓国語」から専攻を希望する分野に関する言語を1つ選択（60分 100点）
- 4) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●起業マネジメント専攻（修士課程・博士後期課程）

【A方式】 日本語能力で選考

- 1) 書類審査
- 2) 日本語および小論文 (60分 各100点)
- 3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●福祉社会専攻

【A方式】 日本語能力で選考

- 1) 書類審査
- 2) 日本語および小論文 (60分 各100点)
- 3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

●ビジネスデザイン専攻

【A方式】 日本語能力で選考

- 1) 書類審査
- 2) 日本語および小論文 (60分 各100点)
- 3) 面接

※辞典等の持込不可

※ビジネスデザイン専攻面接する際、パソコンでのプレゼンテーションが可能です。パソコンを使用する場合には、パソコン使用に関するアンケートを必ず提出し、選考日当日にパソコンを持参してください。

※研究計画に関するプレゼン及び口述試問

●国際アドミニストレーション専攻

【A方式】 日本語能力で選考

- 1) 書類審査
- 2) 日本語および小論文 (60分 各100点)
- 3) 面接

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

【B方式】 英語能力で選考

※All-English Program 希望者はB方式で受験

- 1) 書類審査
- 2) 英語によるエッセイ (60分 100点)
- 3) 面接

※B方式で受験せずに入学後 All-English Program 履修を希望することは不可

※辞典等の持込不可

※これまでにおこなった研究の内容（卒業論文、またはこれに代わる業績の説明を含む）および今後志望する研究分野の研究計画（研究主題、方法論、資料等の説明を含む）についての口述試問

■社会人入試

(1) 出願書類(全研究科共通)

	出願書類	備 考
1	志願票	①写真(出願3ヶ月以内に撮影したもので縦4cm×横3cm、正面上半身、脱帽、背景なし) ②受験票の記載欄に、「住所」「氏名」および「志望学科」を必ず記入 ③入学検定料の払い込みを済ませた受付局日付印のある「郵便振替払込受付証明書」を志願票裏面の所定欄に貼付
2	健康診断書	本学所定用紙に記入して提出(医療機関で受診) ※社会人の場合、職場発行の診断書でも可
3	卒業・成績証明書	出身大学が作成した証明書を提出
4	推薦書	本学所定用紙に推薦者が自筆で記入し、署名および押印をした書類を提出 ※厳封すること なお、社会人で提出できないものについては、その理由を記載した理由書を提出
5	志望理由書	本学所定の用紙を使用して記入すること ※ワードで作成した文書を貼付してもよい
6	事前課題(様式自由)	志望専攻の領域に関して、最近の関心事を大学在学時並びに社会人の経験をふまえてまとめたものを提出
7	在職証明書	現職を有する場合に提出
8	語学関連の各種検定試験等の合格証書やスコアの原本	●国際アドミニストレーション専攻・グローバルコミュニケーション専攻のみ 語学関連の各種検定試験の合格証書やスコアを証明する書類などがある場合には原本を提出
9	プレゼンテーション資料	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 ※パワーポイント等プレゼンテーション用ソフトを使用する場合には、プレゼンテーションに使用するデータ(画像)をプリントした資料を提出(2部)
10	パソコン使用に関するアンケート	●ビジネスデザイン研究科のみ提出 プレゼンテーションにおいて、パソコンを使用する場合に提出
11	卒業(修士)論文	卒業(修士)論文および付随する資料(コピー可) なお、卒業(修士)論文を提出できないものについては、その理由を記載した理由書(書式自由)および卒業(修士)論文に相当する業績(コピー可)を提出

	注意事項
1	状況に応じて上記出願書類以外の書類の提出を求める場合があります
2	証明書の姓が現在と異なる場合は、戸籍抄本等を提出すること
3	出願書類は、受験生が自筆の日本語で記入してください(身元保証書および経費支弁誓約書は除く)
4	提出書類等に虚偽の記載、または虚偽の申告等の事実があった場合には、入学許可を取り消す場合があります
5	提出書類のうち、卒業証書等の再発行が不可能な資料等原本については、可否判定後に返却します

(2) 選考方法

●人文科学研究科(国際文化専攻・女性学専攻・グローバルコミュニケーション専攻・比較文化専攻)

●福祉社会専攻

●起業マネジメント専攻(修士課程・博士後期課程)

●国際アドミニストレーション専攻

●ビジネスデザイン専攻

1) 書類審査

2) 面接

※ビジネスデザイン専攻面接の際、パソコンでのプレゼンテーションが可能です。パソコンを使用する場合には、パソコン使用に関するアンケートを必ず提出し、選考日当日にパソコンを持参してください。

※1年修了コース設置

■合否発送

合格者には、合否通知発送日に本学より合格通知書および入学手続きに関する書類を郵送します(書類は翌日以降の到着となります)。また、不合格の場合にも、その旨を通知します(学内およびインターネットによる掲示はございません)。なお、合否についての電話等による問い合わせには一切応じません。

■入学手続 (全研究科共通)

(1) 学費等納付金

入学手続締切日までに、一括して指定の銀行口座に払い込んでください。

(2) 入学手続書類

	書 類 名	備 考
1	学生個人別カード	写真1枚(縦4cm×横3cm)を貼付してください
2	誓約書(学生個人別カード裏面)	
3	学生証(身分証明書)発行原簿	写真1枚(縦4cm×横3cm)を貼付してください
4	健康管理カード	
5	入学者整理カード	
6	入学許可書送付用返信封筒	住所、氏名および受験番号を記入してください
7	父母後援会登録書	必ず保護者が自筆で記入および押印をしてください
8	誓約書(外国人留学生のみ)	
9	感染症に関する申告書	

注「学費等納付金」の納付および「入学手続書類」の提出を入学手続締切日までに完了してください。なお、入学手続締切日までに手続きが完了しない場合には、入学を許可しません。

(3) 授業料減免書類

入学手続き締切日までに8ページに記載されている必要書類をすべて提出してください。

■入学辞退

入学手続をおこなった後に入学を辞退する場合には、9月7日(金)午後4時までに入試課宛に必ず電話(TEL0475-55-8855)で申し出てください。本学所定の「入学辞退届」を送付します。入学辞退届が届いたら、所定欄に記入、押印のうえ「入学辞退届」「入学許可書」を同封し、書留で返送してください。なお、9月12日(水)までに書類が本学に到着した場合は、9月21日(金)に入学金(入学申込金)を除く、学費および諸会費(委託徴収)を返還します。

■学費等納付金一覧【国内募集一般入試・社会人入試】

人文科学研究科・福祉総合学研究科・国際トランスレーション研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳		初年度			2年次以降(年額)
		入学手続時	4月(春学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	275,000	275,000	550,000	同額を納入(2期分納)
	施設設備費	50,000	50,000	100,000	同額を納入(2期分納)
	小 計	625,000	325,000	950,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	10,000	—	10,000	入学手続時のみ(相互扶助組織として機能)
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	*修士2年次10年会費40,000を納付 *博士3年次10年会費40,000を納付
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小 計	32,000	—	32,000	—
納付額		657,000	325,000	982,000	修士2年次702,000 博士2年次662,000 博士3年次702,000

経営情報学研究科・ビジネスデザイン研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳		初年度			2年次以降(年額)
		入学手続時	4月(春学期)	合計(年額)	
学 費	入学金(入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	275,000	275,000	550,000	同額を納入(2期分納)
	施設設備費	75,000	75,000	150,000	同額を納入(2期分納)
	小 計	650,000	350,000	1,000,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	10,000	—	10,000	入学手続時のみ(相互扶助組織として機能)
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	*修士2年次10年会費40,000を納付 *博士3年次10年会費40,000を納付
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小 計	32,000	—	32,000	—
納付額		682,000	350,000	1,032,000	修士2年次752,000 博士2年次712,000 博士3年次752,000

※入学申込金は、入学金に充当します

※本学卒業者は、入学金を免除します

※本学卒業者と社会人選抜者は、父母後援会費を免除します

※修士課程1年修了コースの授業料は800,000円です

※修士課程1年修了コースの授業料は800,000円です

*本学部在籍時に納付済の場合は除く

【外国人留学生入試】

人文科学研究科・福祉総合学研究科・国際マネジメント研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳		初年度			2 年次以降(年額)
		入学手続時	4 月 (春学期)	合計(年額)	
学 費	入学金 (入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	192,500※1	192,500※1	385,000	同額を納入(2期分納)
	施設設備費	50,000	50,000	100,000	同額を納入(2期分納)
	小 計	542,500	242,500	785,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	—	—	—	外国人留学生は父母後援会費を免除
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	*修士2年次10年会費40,000を納付 *博士3年次10年会費40,000を納付
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小 計	22,000	—	22,000	—
納 付 額		564,500	242,500	807,000	修士2年次537,000 博士2年次497,000 博士3年次537,000

経営情報学研究科・ビジネスデザイン研究科

(修士課程・博士後期課程共通)

(日本円)

内 訳		初年度			2 年次以降(年額)
		入学手続時	4 月 (春学期)	合計(年額)	
学 費	入学金 (入学申込金)	300,000	—	300,000	—
	授業料	192,500※1	192,500※1	385,000	同額を納入(2期分納)
	施設設備費	75,000	75,000	150,000	同額を納入(2期分納)
	小 計	567,500	267,500	835,000	—
(委託徴収) 諸会費	父母後援会費	—	—	—	外国人留学生は父母後援会費を免除
	同窓会入会金*	10,000	—	10,000	*修士2年次10年会費40,000を納付 *博士3年次10年会費40,000を納付
	共済費	9,000	—	9,000	同額を納入
	学会費	3,000	—	3,000	同額を納入
	小 計	22,000	—	22,000	—
納 付 額		589,500	267,500	857,000	修士2年次587,000 博士2年次547,000 博士3年次587,000

※入学申込金は、入学金に充当します

※本学卒業者は、入学金を免除します

※修士課程1年終了コースの授業料560,000円です

※外国人留学生は父母後援会費の入会金ならびに年会費を免除します

*本学部在籍時に納付済の場合は除く

※上表の授業料(※1)は、通常の授業料から30%を減免した金額を記載しています

【外国人留学生授業料減免制度について】

他機関などの授業料減免制度等の奨学制度を適用されていない者で、出願時に「外国人留学生授業料減免制度申請書」を提出し、入学時に「留学」の在留資格を有することで、「城西国際大学外国人留学生授業料減免制度（授業料30%減免）」の審査を受けることができます。授業料減免の適用は、授業料減免審査委員会の審査のうえ決定します。

なお、次年度以降については、年度ごとの授業料減免申請書を提出した者に対して審査をおこない、適用の可否を決定します。

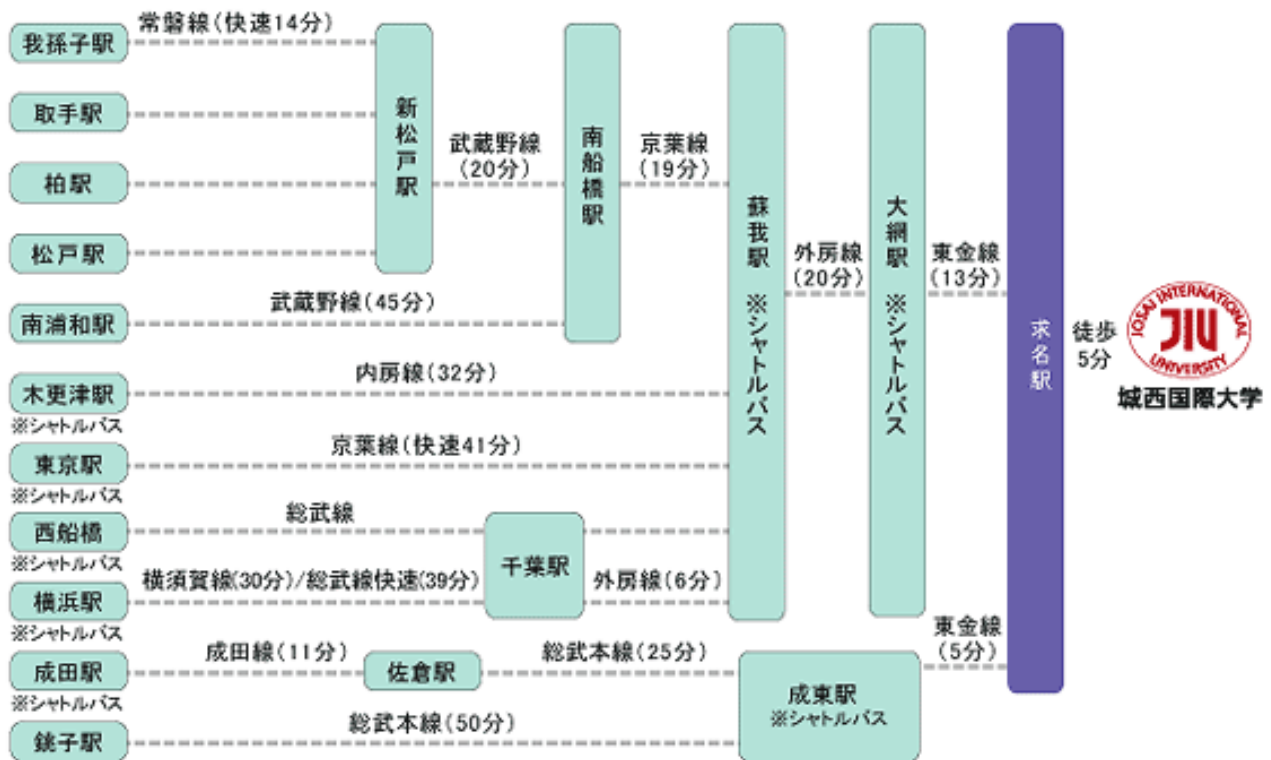
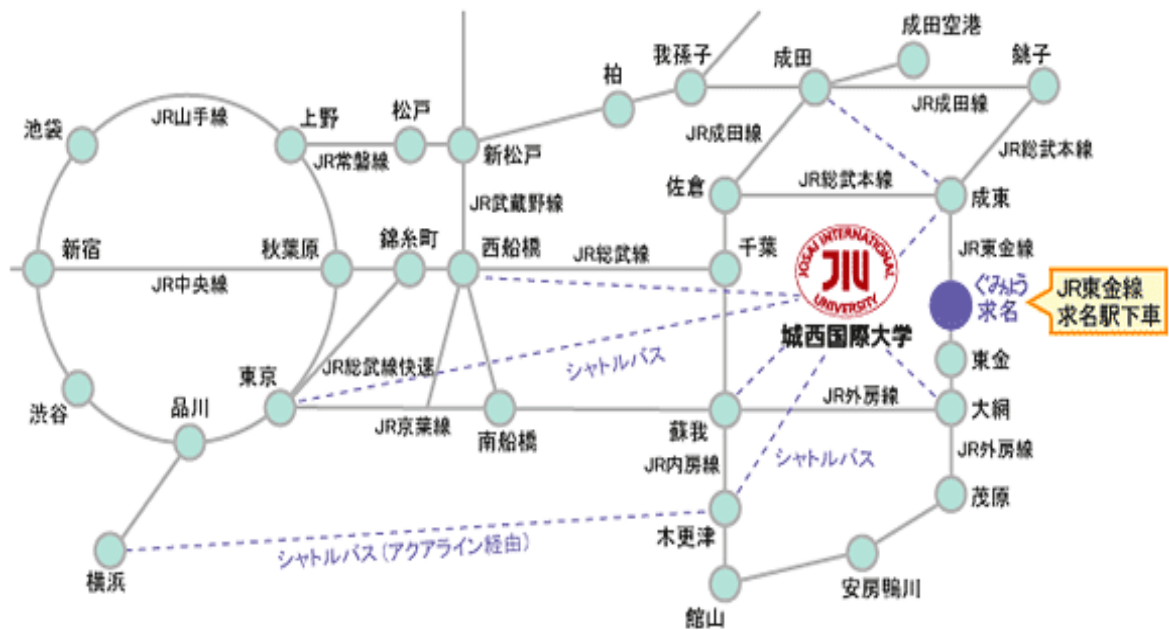
【対象研究科】人文科学研究科／国際アドミニストレーション研究科／経営情報学研究科／福祉総合学研究科／
ビジネスデザイン研究科

- ※「外国人留学生授業料減免制度申請書」の未提出や申請書に不備がある場合には、授業料減免を適用しないことがあります。
- ※毎月の仕送り額が9万円を超える者については、授業料減免を適用しません。授業料30%減免を適用しない金額での納付になります（上表の「授業料」欄が変更）。
- ※毎週1回実施する留学生センターによる在籍確認を怠った学生は、授業料減免の適用を取り消す場合があります。

（注1）国内募集による授業料減免制度の申請は、出願時の在留資格で「留学」を有する者に対して審査をおこないません。入学後に「留学」の在留資格を取得しても、初年度の授業料減免制度の申請は受け付けません。

（注2）注1以外の事案については、出願前に書面で入試課に相談してください。適用の可否を審査します（合否通知後の相談は不可）。

【千葉東金キャンパス】



【東京紀尾井町キャンパスの周辺図】



【水田奨学生制度】

学校法人城西大学創立者水田三喜男先生の育英思想を実現するために設けられ、城西国際大学の建学の精神に則り、優秀な学生の顕彰と、さらなる育成を目的として、成績・人物等優秀な者を選考し、奨学金が授与されます。

【Teaching Assistant 授業料減免制度】

大学院生がティーチング・アシスタントとして、学部学生の授業補助にあたることができ、併せてその大学院生の奨学に資することを目的とした奨学制度です。

【Work Study Program】

大学院生が有給で教員の教育業務の補助および大学全体の業務補助にあたることができる制度であり、併せてその大学院生の奨学に資することを目的としたプログラムです。

【城西国際大学外国人留学生授業料減免制度】

大学院全研究科に入学する外国人留学生で、他機関から奨学金・授業料減免制度の適用を受けていない外国人留学生は、出願時に外国人留学生授業料減免制度申請書を提出することで、「城西国際大学外国人留学生授業料減免制度」（授業料30%減免）の適用を受けることができます。

【城西国際大学外国人留学生宿舍貸与奨学制度】

海外募集による入学者のみ申請可

大学院人文科学研究科および経営情報学研究科、福祉総合学研究科に海外募集で入学をする外国人留学生が、入学時より1年間に限り、大学の留学生宿舍に無料で入居することができる制度です。（入居時には選考があり、光熱費等は自己負担となります）。

※本奨学制度は、入学年度より1年間に限り適用となります。2年次以降に留学生宿舍に入居することはできません。

※本奨学制度は、海外募集でビジネスデザイン研究科ビジネスデザイン専攻・人文科学研究科グローバルコミュニケーション専攻・国際アドミニストレーション研究科国際アドミニストレーション専攻に入学する場合には申請できません。

※紀尾井町キャンパス通学の宿舍貸与無し